

徳島大学教職員労働組合からのお知らせ
(メルマガ Vol.92)

みなさんこんにちは。徳島大学教職員労働組合です。今年度もよろしくお願いいたします。

【大学改革の動向について】

今年度から、運営費交付金の10%を「評価にもとづく配分」とする政策が始まりました。徳島大学は、昨年度と比べて大きな変動はなく、1,400万円程度の増額となった模様です。

しかし、政府・財務省は今後さらに「評価にもとづく配分」の割合を高め、最終的には交付金の全額を評価に基づいて配分することを主張しています。しかも、その「評価基準」は、「人事給与マネジメント」など、政府の求める大学運営のやり方を大学に強要するものです。政府の方針に反対する大学はつぶされかねない状況となっております。

そうした動きに対して、組合だけでなく、国立大学協会や文科省さえも危機感を抱いています。たとえば、柴山文科大臣は国会で、「運営費交付金が減ってきたことで特に地方の国立大学が経営の危機にひんしている。財務当局に運営費交付金のさらなる確保を働きかけたい」などと述べています。

組合としては、連帯と協力の輪を広げ、まともな大学運営ができるような予算配分を求めています。みなさまがたもご支援ください。

【大学フォーラム】

組合以外の団体や市民とも連帯を広げ、あるべき大学の姿を発信するための「大学フォーラム」(正式名称：大学の危機をのりこえ、明日を拓くフォーラム)が結成されました。呼びかけ人には、梶田隆章氏(東京大学宇宙線研究所所長)や白川英樹氏(筑波大学名誉教授)など、ノーベル賞受賞者と並んで、私たちの組合の書記長も名を連ねております。

去る3月31日、東京・明治大学にて、第一回のキックオフシンポジウムが開催され、梶田氏、井野瀬久美恵氏(甲南大学教授・日本学術会議副会長)、山本健慈氏(国立大学協会専務理事)と並んで、書記長も登壇いたしました。

テーマは、「基礎科学の持続的発展に向けて」(梶田氏)、「大学の特性、個性、自主性の行方」(井野瀬氏)、「地方大学の現状と課題」(山本氏)、「大学は競争すればよくなるのか」(山口)。

講演資料は下記ウェブサイトに掲示されています。

フォーラムの様子は、4月14日付の朝日新聞等で報道されております。今後とも、大学の危機的状況を社会に広く訴え、「公共的な存在」としての大学のあるべき姿を発信していきたいと考えています。

★大学フォーラム HPはこちら↓

<http://univforum.sakura.ne.jp/wordpress/>

【組合加入のお願い】

全国的に教員の定員削減や非正規雇用の研究者が増えるなか、組合加入率が低下(激減)しております。文科省・財務省との交渉の窓口となる組合の全国組織「全大教(全国大学高専教職員組合)」は、財源難から活動に支障をきたしています。

みなさまにおかれましては、ぜひ組合にご加入いただき、政府による破壊的な「大学改革」に歯止めをかけ、あるべき大学の姿を実現するために、お力をお貸しください。

組合にご加入いただきますと、徳島大学の状況だけでなく、全国的な状況などについても速やかに情報を得ることができます。

みなさまの声が、徳島大学執行部だけでなく、全国的なレベルにまで届きます。

もちろん、日々の仕事における疑問や悩みなどについても、ご相談いただければ、たいいのことは速やかに解決いたします。

「組合に加入すると上司ににらまれる」などとお考えの方もまだまだおられるようですが、むしろ加入しておいた方が安全です。ぜひ加入をご検討ください。

ご質問、ご意見などはお気軽にどうぞ。このメールに返信していただければ結構です。

★加入申込書のファイルはこちら↓

<http://tokushima-u-union.in.coocan.jp/document/mousikomi.doc>

(ワードファイルが開きます)

ご記入の上、メールにて送信いただければ結構です。

【学長懇談について】

3月11日、2018年度第3回の学長懇談を開催しました。話題は、

- ① 交付金の10%を評価による配分とする政府方針について。
- ② 常三島地区の事務組織改編について。
- ③ 10連休による有期雇用職員の収入減について。
- ④ 教員年俸制について。

以上4件でした。

★議事要旨(大学側内容確認済)はこちら↓

<http://tokushima-u-union.in.coocan.jp/document/20190311gakucho.pdf>

組合ウェブサイトでは、大学への質問状やそれへの回答など、随時掲載しています。
(一部、組合員限定)

【今年度の要望事項について】

組合では、今年度も大学側に対して労働環境の改善に向けた要望を準備しております。現時点では、

- ・ 働き方改革法への対応(年休取得5日以上義務付け・残業削減など)
 - ・ 校費(教育研究費)の減額について
 - ・ 医員の日給引き上げ
 - ・ パート職員への賞与支給
- などを考えております。

組合員からの要望を取りまとめ、原案を作成した段階で、みなさまにもご報告します。徳島大学教職員の幅広い層からの要望と取りまとめるためにも、多くの皆様に組合に加入していただければ幸いです。